

コンポスト発根性確認報告

項目

- 1、洋ランソイルによる発根性確認
- 2、コンポスト違いによる、ミクランサムの発根性確認

植え込み期間

- 1、洋ランソイル：平成24年10月3日から平成25年6月27日（9ヶ月間）
- 2、ミクランサム：平成24年10月6日から平成25年6月27日（9ヶ月間）

評価基準

- 0点： 根の動きが全く無い、または株が枯れ死
- 1点： 1、2、本の根が短く動いている。
- 2点： 1、2、本の根が長く動いている。
- 3点： 3、本の根が動いている。
- 4点： 4本の根が動いている。
- 5点： 全体が活発に動いている。

報告日

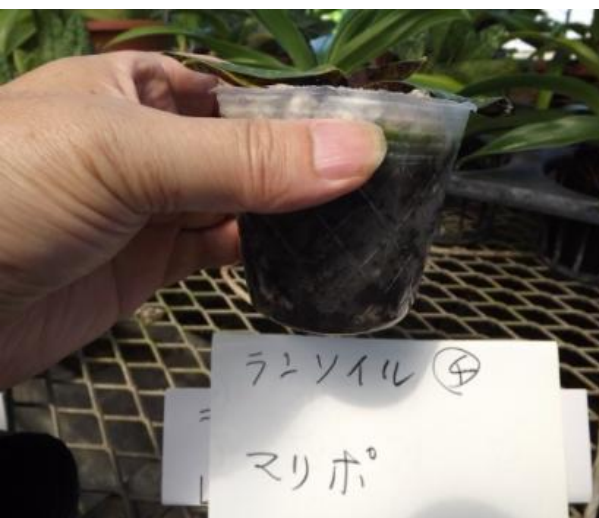
平成25年6月30日 JPA例会 根岸園芸大ホールにて 松岡報告

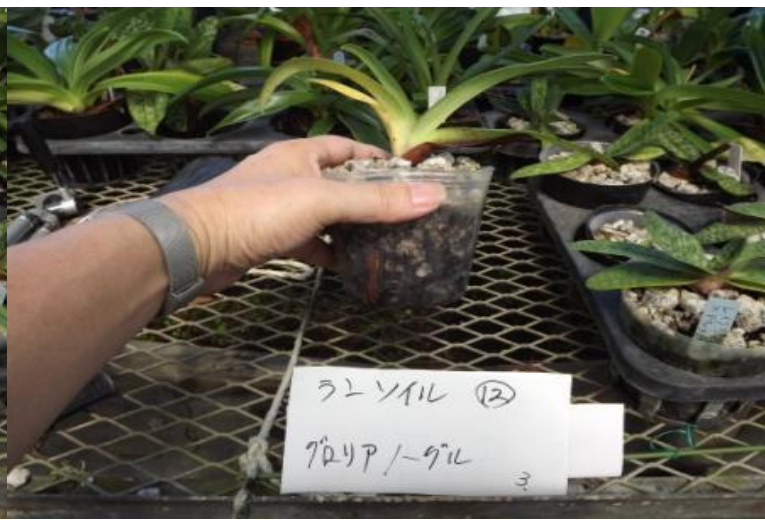
1、洋ランソイルの発根性

1) 結論

保水性が良く、多花性や整形花には非常に良い。ただし、定期の乾きを必要とするブラキ系には成績が良くなかったが、ブラキでも元気な株では発根性の良い株もあったので再度の確認が必要。ブラキ、パービについてはバイオバークの如きではないが、整形花や多花性ではバイオバークに匹敵するようだ。

NO	NAME	点数	備考
1	レイクシンセイ x アルメニ	1	
2	P. E. Y. X anitum	—	苗が小さく、根が回っていないのでカウントしない。
3	整形苗	3	整形は植え込んで数週間で根が動き始めた。
4	マリホ	0	マリホは元々活着性が悪い。発根条件が非常に狭いのだろう。
5	ベラ	0	株が先に滅失した。
6	マリホ	4	株も根も良い。マリホ全部が悪いのではなく株の状態が影響するようだ。
7	ミクランサム	0	
8	ベトナムエンセ	0	
9	マリホ	1	
10	ブラキ	0	
11	セントスイシ x アダクタム	5	多花性には非常に良いかもしれない。ロス、アダクタムで追試確認中。
12	グロリアノーグル	3	グロリアノーグルで根が動くので基本的には発根性が良いようだ。
13	整形	5	非常にOK
14	整形	4	非常にOK
15	セントスイシxアダクタム	5	非常にOK
16	アクモドンタム	0	根が出る前に株が傷んでしまった。
17	ベラxテレナティ	3	ブラキ系でも株自体が強い種類は発根性も良いようだ。
18	マスターシアナム	5	非常にOK







2、ミクランサムコンポ^スト比較

結果：

最も良かったのは、鹿沼土、赤玉を使用したコンポ^ストで、最も悪かったのは、「バーク+軽石+石」のミックスコンポ^ストであった。

NO	NAME	①	②	③	合計	平均	Max	Min	差	評価順位	備考
1)	スゴイネ	3	5	1	9	3	5	1	4	3	株の健康状態が影響する
2)	ランソイル	3	1	1	5	1.67	3	1	2	7	保水性が良すぎるかも
3)	バーク+赤玉+鹿沼	4	2	4	10	3.3	4	2	2	1	根の動き始めが速かった
4)	バーク+軽石+赤玉	3	3	3	9	3	3	3	0	2	根の動き始めが速かった
5)	水苔+杉皮	2	2	1	5	1.67	2	1	1	6	保水性が良すぎるかも
6)	杉皮	3	1	2	6	2	3	1	2	5	予想より根の動きが遅い
7)	バーク+軽石+石	0	2	2	4	1.3	2	0	2	8	排水性が良すぎるのか？
8)	バーク	3	3	1	7	2.3	3	1	2	4	バーク単体で意外に良い

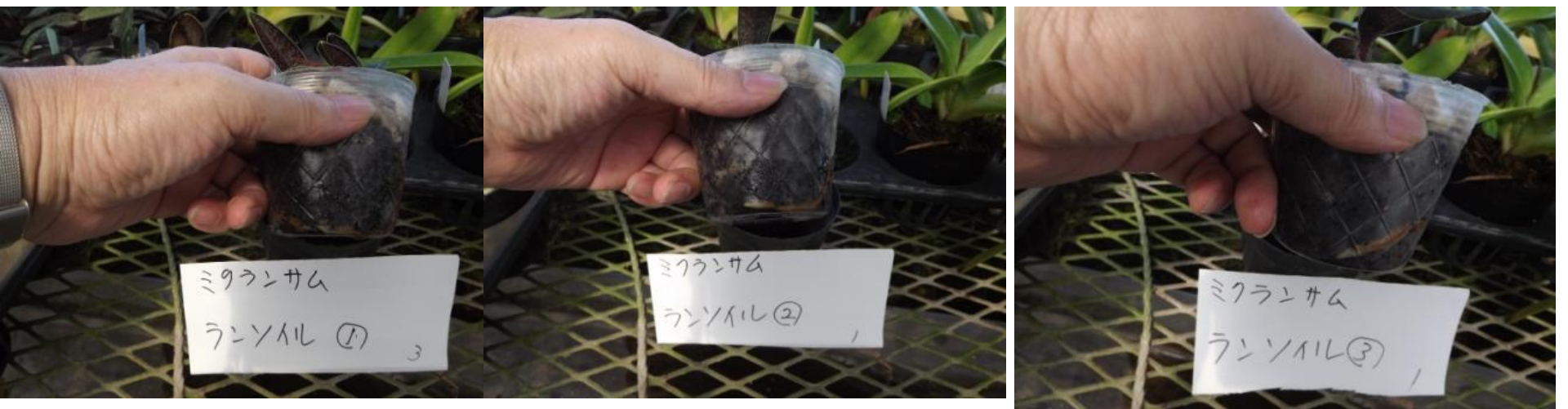
考察

- ・赤玉、鹿沼土が発根性にはどうも良いようだ。根が動き始めたのも速く、NO3, 4、は植え込み後1ヶ月位で動き始めた。なぜ？赤玉、鹿沼土に共通するのは弱酸性で、Phが影響している可能性はあるが明確ではない。赤玉、鹿沼土の効能はブラキパービ全般に及ぶかもしれない。
- ・いままで最も良いと考えていた「バーク+軽石+石」のミックスコンポ^ストが以外にも最も悪かった。ミクランサムが中々育たなかった理由はこれにあるのかも？（何故発根しない、なぜ？）排水性が良すぎる？
- ・バーク単体の植え込みが予想より良いが何故だ？ 保水性と排水性のバランスが良いのか？

NO1 スゴイネ : 4ヶ月ぐらいから動き始めた



NO2 ランソイル : 保水性が良すぎる



NO3 バーク+赤玉+鹿沼土 : 1ヶ月ぐらいで動き始めた。GOOD



NO4 バーク+軽石+赤玉 : 1ヶ月位で動き始めた。GOOD



NO5 水苔+杉皮 なかなか動きはなかった。保水性が良いのか？



NO6 杉皮 動き始めが遅いが出て来た根が太い。



NO7 バーク+軽石+石 : 最近やっと動き始めた。水抜きが良く発根には良い筈なのに？



NO8 バーク単体 バーク単体が石を入れるより良い。なぜ?保水性？



終

注意: 当内容は特定栽培の元での結果であり全てに共通するものではない。